

エコアクション21

2025年度環境経営レポート

発行日 2026年 4月10日

改訂日 2026年 5月15日

レポート対象期間 2025年3月 ～ 2026年2月

有限会社 城陽産業



アオバズクの幼鳥のエンジェルポーズ

[目 次]

1. 事業概要	3
1) 事業者名及び代表者名	3
2) 所在地	3
3) 環境管理責任者及び事務局	3
4) 連絡先	3
5) 事業活動の内容	3
6) 適用事業範囲	3
7) 事業規模	3
8) 施設等の状況	3
9) 産業廃棄物許可証の内容及び許可番号	4
10) 廃棄物の処理料金	4
11) 環境関連技術資格の名称と取得人数	4
12) E A 2 1 推進組織図	5
2. 環境経営方針・環境経営目標	6～7
3. 主な環境負荷の実績	8
4. 2025年度実績（運用期間 2024年3月～2025年2月）	9～12
5. 次年度以降の取組み内容	13
6. 環境関連法規への違反、訴追等の有無	14
7. 代表者による全体評価と見直し・指示	14

1. 事業概要

- 1) 事業者名称及び代表者名
事業者名称：有限会社城陽産業
代表者名：代表取締役 浦上富廣
設立日：昭和44年 4月1日
資本金：500万円
- 2) 所在地
本社
〒671-0101
兵庫県姫路市大塩町2162
- 3) 環境管理責任者及び事務局
環境管理責任者：代表取締役 浦上富廣
環境事務局：湯口正文
- 4) 連絡先
連絡担当者：（環境事務局） 湯口正文
TEL：079-247-9652
FAX：079-247-9653
- 5) 事業活動の内容
産業廃棄物の収集運搬
製鋼原料売買
製紙原料売買
清掃業務
設備の据え付け・移設・撤去
- 6) 認証・登録事業範囲
登録事業者名：有限会社城陽産業
対象事業所：本社・工場
対象とする活動：（事業活動の内容と同じ）
- 7) 事業規模

活動規模	単位	2009年度	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
処理量	t	3,718	2,681	2,332	2,270	2,339
売上高	百万円	160	176	198	180	190
従業員数	人	13	9	7	9	9

- 8) 事業年度
3月～翌年2月
- 9) 施設等の状況
 - 収集運搬車両等
 - ・8t車クレーン付ダンプ 1車
 - ・4t車ヒヤブクレーン付き平ボデー 1車
 - ・4t車クレーン付き平ボデー 2車
 - ・3t車ヒヤブクレーン付きダンプ 1車
 - ・2t車平ボデー 1車
 - ・営業車 1車
 - ・軽トラック 1車
 - その他車両
 - ・フォークリフト 5台
 - ・ショベルローダー 1台
 - ・バックホウ 1台
 - 計量器
 - ・台秤（最大計量容量5t） 1

9) 産業廃棄物許可証の内容及び許可番号

許可 県市名	事業の区分	許 可 番 号	事 業 の 範 囲	許可 年月日	許可 有効期限
兵庫県	産業廃棄物 収集運搬業	02802012453	汚泥（水銀含有ばいじん等を含む）、廃油、 廃プラスチック類（石綿含有産業廃棄物を含 む）、紙くず、木くず、繊維くず、金属 くず、ガラスくず・コンクリートくず及び 陶磁器くず（石綿含有産業廃棄物を含む）、 がれき類（石綿含有産業廃棄物を含む） 上記については水銀使用製品産業廃棄物 を含む。	R6.07.27	R11.07.26

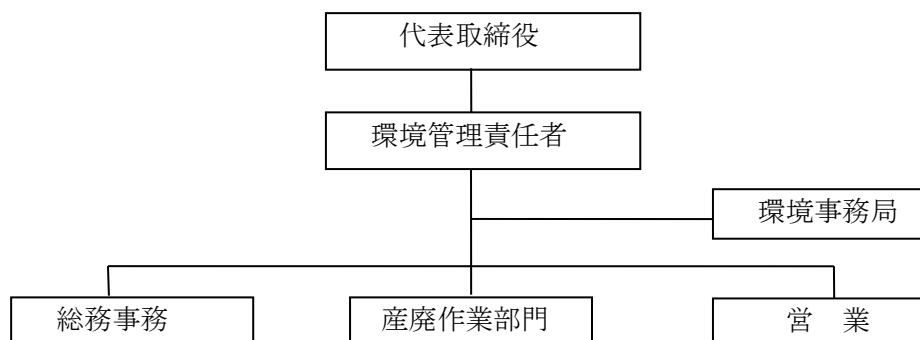
その他の許可内容 古物商許可（兵庫県公安委員会） 第631609000052号
 公布日 H2. 7. 13
 変更日 R2. 3. 9
 金属商許可（兵庫県公安委員会） 第1600100001号
 許可・公布日 H13. 6. 1
 変更日 R2. 3. 9

10) 廃棄物の処理料金：別途見積書による
 （廃棄物の種類、数量、荷姿、性状等により、処理料金が異なる為）

11) 環境関連技術資格の名称と取得人数

大型運転免許・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3人
 中型運転免許・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1人
 大型特殊運転免許・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2人
 移動式クレーン運転免許・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1人
 小型移動式クレーン運転技能講習修了・・・・・・・・・・・・ 3人
 玉掛技能講習修了・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2人
 ガス溶接技能講習修了・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2人
 フォークリフト運転技能講習修了・・・・・・・・・・・・・・ 4人
 ショベルローダー等運転技能運転修了・・・・・・・・・・・・ 1人
 フロン回収技術講習修了・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1人

1 2) E A 2 1 推進組織図



	役割・責任・権限
代表者 (代表取締役)	・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施に必要な、人、設備、費用、時間、技能、技術者の準備 ・環境管理責任者を任命 ・代表者による経営における課題とチャンスの明確化 ・環境経営方針の策定・見直し及び全従業員へ周知 ・環境経営目標設定の承認 ・代表者による全体の評価と見直し・指示を実施 ・環境経営レポートの承認
環境管理責任者	・環境経営システムを構築し、実施し、管理 ・法規制登録簿の承認 ・環境経営計画書の承認 ・環境経営の取組み結果の代表者への報告 ・環境経営レポートの確認及び地域事務局への送付
環境事務局	・環境管理責任者の補佐、E A 2 1 推進委員会の事務局 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境経営目標、環境経営計画書原案の作成 ・環境経営活動の実績集計 ・環境関連法規等取りまとめ表の作成 ・環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口 ・環境経営活動の取組結果を代表者へ報告 ・テスト、訓練の実施のフォロー ・従業員に対する教育訓練計画の作成とフォロー ・環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
部門長	・自部門における環境経営システムの実施 ・自部門における環境経営方針の周知 ・自部門の従業員に対する教育訓練の実施 ・自部門に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 ・特定された項目の手順書作成及び運用管理 ・自部門の特定された緊急事態への対応のための手順書作成 ・テスト、訓練を実施、記録の作成 ・自部門の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	・環境経営方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 ・決められたことを守り、自主的・積極的に環境経営活動へ参加。

2. 環境経営方針

2025年度環境経営方針

作成 2020 年 4 月 10 日 改定日 2022 年 7 月 27 日 改訂 2026 年 2 月 28 日

代表取締役 浦上富廣

基本方針

有限会社城陽産業は、企業理念に基づき全ての業務を通じて省エネルギー、省資源、リサイクルの推進、廃棄物削減を自主的、積極的、継続的に推進し、地球環境の保護に努める。その為には自社の環境保全意識とリサイクル技術を持った熟練技術者を生かし育てて継続的改善を進め社会に貢献する。

スローガン

「地球環境を守る」を基本に一人ひとりが責任を持ち積極的に行動する。

重点活動

- 1) エコアクション21マネジメントシステムを円滑に運用する。 そのためエコアクション21事務局を設置し、関連する諸問題を協議し解決する。
 - 2) 自社の課題とチャンス等を常に考慮して活動項目に生かすこと。
 - 3) 従業員に対して朝礼、研修等を通じて、環境経営方針、環境経営計画などについて周知徹底を図る。
 - 4) 環境関連法規、及びエコアクション21の要求事項を遵守する。
 - 5) 収集運搬業務、及び外部請負業務等においては、常に環境への配慮を行う。
 - 6) 以下を活動の項目とし、環境負荷の低減を図るため、具体的数値目標を定め、実施評価、見直しを行い、継続的な活動に取り組む。
 - ①省エネルギー活動を推進し二酸化炭素排出量の削減
 - ②廃棄物の削減とリサイクル化を推進、及び適正管理
 - ③受託した産業廃棄物の収集運搬・処分における環境配慮
 - ④地域社会活動に貢献
 - ⑤水道水、LPGの使用量削減への維持管理活動
- この環境経営方針は、全従業員に周知徹底するとともに、社内外に公表する—

2-1 2025年度環境経営目標

P7 3項の2024年度の環境への負荷、及び環境へ取組み状況まとめにより、基準年度2019年度（軽油使用量は2024年度後半実績）を考慮して2025年度の目標値を設定した。

取組み項目		基準年度値 (2024年度) 軽油基準値は2024年度を 考量し基準値とした	2025年度目標 2025年3月～2026年2月 軽油基準値は2024年度を 考量し基準値とした
二酸化炭素排出量の削減 電力 基準年度比△2.0% ガソリン・LPG 基準年度維持 軽油使用量 $\frac{\text{L}}{\text{L}}/\text{売上高 (万円)}$ 注意 軽油使用量原単位の決め方 基準年度値は2024年10月～2月 の実績から通年換算した	電力使用量の削減 (kWh)	4,573kg-CO ₂ (14,703)	4,481kg-CO ₂ (14,409)
	軽油使用量の削減 基準年度2024年 注 軽油は原単位で管理 (L)	原単位0.723 35,523kg-CO ₂ (13,535.9)	原単位0.723 35,523kg-CO ₂ (13,535.9)
	ガソリン使用量の削減 基準年度2024年度の △1% (L)	2,086kg-CO ₂ (898.6)	2,065kg-CO ₂ (889.6)
	LPG使用量の削減 (kg) 維持管理	71.7kg-CO ₂ (23.9)	71.7kg-CO ₂ (23.9)
二酸化炭素排出量の合計		42,253	42,141
廃棄物分別によるリサイクルの向上 2025年度より受託分産業廃棄物のリサイクル率を設定した為、基準年度2024年度受託産業廃棄物の目標値は決めていない		自社産廃 60% 自社一廃 80%	受託産廃 95% 自社産廃 60% 自社一廃 80%
受託した産業廃棄物の収集運搬・処分における環境配慮 収集運搬時の飛散、漏洩の防止		収集飛散、漏洩 事故 0件	収集飛散、漏洩 事故 0件
節水による水使用量の削減		68.7m ³	68.7m ³ (維持管理)
地域社会への貢献 委託		不定期に周辺の清掃実施	事業所周辺の定期 清掃 1回以上/月

※1 電力の二酸化炭素排出係数 関西電力(株)

2021年度公表値 CO₂調整後排出係数 0.311kg-CO₂/kWh

※2 塗料などは微量の使用量の為「化学物質の適正管理」の項目は環境経営方針、環境経営目標から外している。(2025年度分より)

3. 主な環境負荷の実績

2025年度の環境負荷削減の目標及び環境活動を策定する為、過去3年間の「環境への負荷の自己チェック表」及び「環境への取り組みの自己チェック表」の調査結果のまとめは下表の通りです。

(電力購入先：関西電力 2021年度公表値 CO₂調整後排出係数 0.311kg-CO₂/kWh)

環境への負荷の自己チェック表

(集計期間 2019年度～2025年度) 2025年度の実績を比較の為表記

		単位	2019年度	2023年度	2024年度	2025年度
温室効果 ガス排出量	二酸化炭素	kg-CO ₂	31,848	30,973	36,551	44,068
受託した 産業廃棄 物の処理 量	収集運搬量 ※1 今回の表記は受託した 収集運搬物よりスクラップ 等有価物を除くに見直し	t	931.13	330.91	306.66	320.01
自社発生 産業廃棄 物排出量	再資源化量	t	不明	114.79	135.66	155.25
自社発生 一般廃棄 物等総排 出量	再使用	t				
	再生利用	t	0.184	0.15	0.147	0.169
	熱回収	t	0.022	0.016	0.017	0.010
	単純焼却	t				
	その他	t				
	最終処分量	t				
総排水量	公共水域	m ³	82.58	88.68	77.91	72.69
水使用量	上水	m ³	64.78	79.48	68.71	66.49
	地下水	m ³				
	雨水	m ³	7.8	9.2	9.2	6.2
総エネル ギー投入 量	購入電力	kWh	13,584	13,373	14,703	15,577
	使用量内訳 ガソリン	リットル	2,015	624.6	898.6	813.2
	軽油	リットル	8,719	9,626	11,363	14,211
	LPG	kg	21.65	34.22	23.9	13.42

4. 2025年度実績（運用期間 2025年3月～2026年2月）

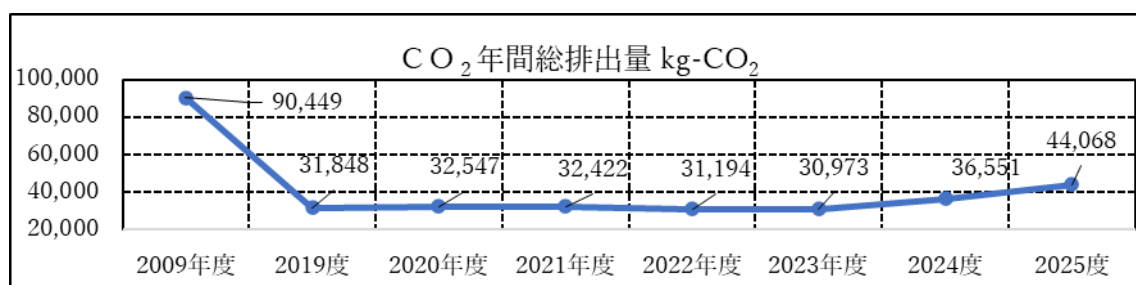
環境経営目標に対する達成状況は下記の通りです。

達成率の計算は右記の式を使用する。 達成率＝（1－（実績値－目標値）/目標値）×100
温室効果ガス総排出量の推移（2012年5月認証・登録）

注意 各年度とも電力のCO₂調整後排出係数は0.311kg-CO₂/kWhで計算しています。

1) 事業活動による二酸化炭素総排出量削減 関連SDGsターゲット 13.3

取組み項目	2025年度目標	2025年度実績値 (3月～2月)	達成率	評価
エネルギー使用量削減による二酸化炭素排出量削減	42,155 kg-CO ₂	44,068.1 kg-CO ₂	95.4 %	未達成
取り組み結果と次年度の取り組み	年間のCO ₂ 総排出量は達成率95.4%と未達成。一番の増加要因は軽油使用量が一回当たりの収集運搬量の減少化等による運搬回数増等の収集運搬方法の変化により大幅の増加、合わせて電力量使用量は夏季の猛暑の影響で大きく増加している。			



※CO₂排出量は、過去分電力CO₂排出量を2025年度採用の電力CO₂排出係数に換算して計算

1) - 1 電力使用量の削減 関連SDGsターゲット 7.3

取組み項目	2025年度目標	2025年度実績値 (3月～2月)	達成率	評価
使用量の削減	14,409 kWh	15,577 kWh	91.9 %	未達成
CO ₂ 排出量の削減	4,481 kg-CO ₂	4,844.5 kg-CO ₂		
取り組み結果と 次年度の取り組み	毎月の最高気温は毎年上昇してきている。そのような中、数年前より作業者の安全衛生面を考慮して常時運転を行っている。その結果、電力消費量は増加し目標に対して達成率は83%と未達成となった。 次年度も電力の適正利用については取り組みの徹底を図る。			

1) - 2 ガソリン使用量の削減 関連SDGsターゲット 7.3 12.2

取組み項目	2025年度目標	2025年度実績値 (3月～2月)	達成率	評価
使用量の削減	898.6 リットル	813.2 リットル	108.6 %	達成
CO ₂ 排出量の削減	2,086 kg-CO ₂	1,887.97 kg-CO ₂		
取り組み結果と 次年度の取り組み	・エコドライブの推進についてはミーティングの度に教育を実施してきた。しかし、1～2回/月の補充、軽車両2台では月間購入量のばらつきが大きいので管理が難しい。次年度も継続してエコドライブへの呼び掛けを継続して行う。			

1) - 3 軽油原単位の低減、軽油使用量削減取り組み関連SDGsターゲット 7.3 12.2
(取り組み項目：軽油原単位の低減 軽油使用量／売利上げ高)

取組み項目	2025年度目標	2025年度実績値 (3月～2月)	達成率	評価
軽油原単位の低減 基準年度（2024年） ※2	0.723 リットル/万円	0.747 リットル/万円	96.7 %	未達成
使用量の削減 ※2	13,535.9 リットル	14,211.3 リットル	95.0 %	未達成
CO ₂ 排出量の削減	35,523 kg-CO ₂	37,295 kg-CO ₂		
取り組み結果と 次年度の取り組み	・原単位の目標設定時に設定を厳しくしすぎた。11月頃より遠方の取引が少なくなり、工事等の売り上げ増で原単位は良くなってきた。 ・次年度も運行管理を適正にし効率の良い収集運搬に取り組む。			

※2 軽油原単位、軽油使用量の見直しは収集運搬業務の変化(旧JYメタルの業務と車両の自社に吸収)で軽油使用量が増加、引取り先の1回当たりの運搬量制限により運搬効率が低下し2025年度より見直した。

1) - 4 LPG使用量の削減(維持管理に見直し) 関連SDGsターゲット 7.3 12.2

取組み項目	2025年度目標 参考目標値	2025年度実績値 (3月～2月)	達成率	評価
使用量の削減	23.9kg	13.42kg	143.8 %	達成
CO ₂ 排出量の削減	71.7 kg-CO ₂	40.3 kg-CO ₂		
取り組み結果と 次年度の取り組み	・元々使用量が少ない為わずかな作業人員の配置の変更で大きく 使用量変動するので適正使用を心がけるようにすることと している。 次年度も給湯器の適正使用を呼びかける			

2) 水使用量の削減(維持管理に見直し) SDGsゴール及びターゲット 6 12.2

取り組み項目	2025年度目標 参考目標値	2025年度実績値 (3月～2月)	達成率	評価
使用量の削減 (維持管理) 基準年度2024年度	68.7 m ³	66.49 m ³	103.2 %	達成
取り組み結果と 次年度の取り組み	・7月度にトイレ洗浄用水栓の閉め忘れで使用量が増加。ミーティングで教育と閉め忘れ防止呼びかけで対応 - 次年度もうっかりミスでの漏洩の防止、及び冬季の凍結による漏洩事象の防止を図る			

水道水使用量は基準年度を2024年度実績に見直し目標値72m³から実際使用実績の68.7m³を目標値とした。

3) 選別とリサイクルの推進 関連SDG sターゲット 12.5

リサイクル率の計算

(受託分産業廃棄物収集運搬量ー焼却向・埋立向量) / 受託分産業廃棄物収集運搬量 × 100

リサイクル率の計算方法の見直し

前年度までは自社排出廃棄物と受託産業廃棄物を合算したリサイクル率を目標としていたが、**2025年度**からは受託産業廃棄物（収集運搬業務）のみを対象としたリサイクル率に変更した。

取組み項目	取組み結果	評価
趣旨説明と現状調査	・全員に趣旨説明と現状作業の確認を指示	達成
改善案作成	・金属と樹脂の混合物のリサイクル化	達成
実施及び実施結果確認と見直し 2025年度目標値 95%以上（産廃分）	・発生量の少ない廃棄物でもリサイクル化取り組み実施 年間リサイクル率98.7% 達成率103.9 資源化量315.95 t/全収集運搬量320.01 t 埋立0 t、焼却向け廃プラ4.06 t	達成
取組みの定着	・処理可能な収集物の分別を徹底	達成
取組みの結果確認と改善案作成	・定期的な現場確認とフォロー実施	達成
取組み結果と次年度の取組み	受託分の産業廃棄物は殆どリサイクルが出来るようにしているので、今年度は埋立向け産業廃棄物は発生していない。今後ともリサイクルのアイテム多く持つことで、それを活用することで埋め立て廃棄物のゼロを目指す様にする	

4) 収集運搬時の飛散漏洩防止 関連SDG sターゲット 11.6 12.4

取組み項目	取組み結果	評価
漏洩事故の防止	容器の密閉、転倒防止対策確実実施 事故0件	達成
飛散事故の防止	シート、ネットによる養生確実実施 事故0件	達成
取組み結果と次年度の取組み	・収集・運搬中の飛散、漏洩事故もなく安全、適正に処理が出来た。今後も定期的な教育で徹底を図る	

5) 自社発生産業廃棄物、一般廃棄物適正管理によるリサイクル率の向上

関連SDG sターゲット 12.5

取組み項目	取組み結果	評価
適正管理によるリサイクル率の向上 産廃目標： 60%以上参考 一廃目標： 80%以上	取組み初年度の取組み 現状の把握と取組結果 自社産廃リサイクル率 89.8% 一廃リサイクル率 100.0% (可燃ごみは最終処分業者にて廃熱発電)	達成
取組み結果と次年度の取組み	○自社発生産業廃棄物 スクラップ回収時パレット（木製、プラスチック製）、選別に発生する樹脂類、及び請負工事はその都度発生する廃棄物の種類が変化する為、自社で発生量をコントロールすることは難しい。 ○一般廃棄物 ・新聞紙、雑誌類は最低限の購入量とし、不要時は原料化によるリサイクル化。 ・可燃ごみは最終処分業者にて焼却熱による発電でサーマルリサイクル化を継続実施 次年度もリサイクル化アイテムを増やしリサイクル率UPを進めていく	

6) 地域社会活動に貢献する SDGsターゲット 14.1

取組み項目	取組み結果	評価
趣旨説明と現状調査	・趣旨説明の実施	達成
清掃予定場所の設定と実施	・清掃日を決めずに不法投棄ごみ発見時に回収	達成
問題点の把握と改善案作成	事業所前の道路は放置ごみを見つける都度に新たなごみと呼ばないように回収することになっている。	達成
次年度の取り組み	不法投棄を発見の都度回収を行い不法投棄の呼び水となるのを防ぐようにする ・春、夏場の行楽客からの放置ゴミが多いときは頻度を増やす。 ・出勤後のパトロールを兼ねて放置ごみの清掃活動の様子回収を実施する。	



清掃作業様子

5. 次年度以降の取り組み内容

5-1 2026年度環境経営目標（基準年度2024年）

注意 電力のCO₂排出係数は関西電力（株）の2024年度の実績値0.415 kg-CO₂を使っています

○各エネルギー使用量の削減により二酸化炭素排出量を削減する			
※1 二酸化炭素総排出量目標 43,639kg-CO ₂ /年以下			
エネルギー削減項目	・電力使用量の削減	基準年度(2024年度)の△2%	14,409kWh以下
	・ガソリン使用量の削減	基準年度2024年度の△1%	889.6ℓ以下
	・軽油原単位の削減 ・軽油使用量の削減 (参考目標)	基準年度 原単位 0.723維持	目標原単位0.723 (軽油ℓ/売上高万円)以下
	・LPG使用量の削減	無駄な使用を止める 23.9kg	
○節水による水使用量の削減(維持管理)			
	・代替水活用による 水道水の節減	節水に努める 操作ミスによる無駄な使用防止	目標 68.7m ³
○選別、リサイクルの徹底で廃棄物削減			
	・選別方法見直しによる再資源化量拡大 ・リサイクルアイテムの開発でリサイクル率UP	リサイクル率目標 受託産廃：95%以上 自社産廃：60%以上 自社一廃：80%以上	
○受託した産業廃棄物の収集運搬・処分における環境配慮			
	・収集運搬時の飛散、漏洩の防止		飛散、漏洩事故ゼロ
○事業所周囲の定期的清掃作業			
	・従業員による事業所周囲の定期清掃		1回以上/月

※1 二酸化炭素総排出量目標は、電力のCO₂排出係数を2025年度のCO₂排出係数 0.311 kg-Cから2026年度は0.415 kg-CO₂見直した為に増加した

※2 軽油原単位、軽油使用量の基準年度は2024年度後半実績とし決め方は下記の通り
軽油使用量（参考目標）：2025年度以降も2024年度の10～2月度実績値を年間に置き換えて維持
軽油原単位：2024年度10～2月度の軽油使用量、売上高から年間の原単位を推定し維持をする

※3 ガソリン使用量基準値は2024年度実績とし、2026年度以降は維持とする

5-2 2027年度～2029年度までの中長期の環境経営目標

○各エネルギー使用量削減目標 各年度の削減率 基準年度（2024年度）に対して 電力：2026年度 基準年度の△2% 以降年度は基準年度の△2%を維持 ガソリン：2027年度以降は基準年度の△1%維持 LPGは維持管理活動（無駄な使用を止める） 軽油目標原単位0.723（軽油原単位の基準年度は2024年10月～2月の実績を通年実績に換算した値0.723を維持）			
○水道使用量削減	維持管理活動（節水に努める）とする		
○リサイクルの徹底で 廃棄物削減	取り組み定着 適正管理で再資源化量の拡大		
	リサイクル率	受託分産廃棄物： 95%以上	自社産廃：60%以上 一般廃棄物：80%以上
○収集運搬時の飛散、 漏洩事故防止	飛散、漏洩事故件数		0件
○事業所周囲の定期清	従業員による清掃		1回以上/月

6. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

当社に関連する主な法規制は下記の通りであり、それらの遵守状況の確認を今回（2026年3月10日）実施したが全て遵守されており、関係機関からの指導、勧告、訴訟、及び外部からの苦情等ありませんでした。

主な適用法令名	遵守すべき要求事項	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律 県条例・市町村条例	・産業廃棄物の収集運搬業許可の有効期限遵守 ・マニフェストの管理、保管	遵守
自動車NO _x ・PM法	自動車NO _x ・PM法の排出基準順守の車両を運行	遵守
古物営業法	標識掲示・帳簿管理・その他法令の遵守	遵守
兵庫県金属くず営業条例	標識掲示・帳簿管理・その他条例の遵守	遵守

8. 代表者による全体評価と見直し・指示

今回、エコアクション21認証後14年目の取り組みであり、年間を通じて産業廃棄物処理業者向け2017年版ガイドラインに合わせて活動を行った。

○温室効果ガス排出量抑制関係について

- ・ここ数年の温暖化で電力使用量が増加した。2024年度後半より収集運搬車両の専属化、及び収集運搬頻度増により2025年度は原単位、及び軽油使用量の見直しを実施したが年度前半は原単位目標値をクリアできず。2026年度の原単位目標も2025年度目標値と同じとして取り組む。

次年度も電力使用量の適正使用取り組み、燃料は適正運行管理に取り組むこと。

○廃棄物の削減とリサイクル取り組みについて

- ・受託分産業廃棄物収集運搬量
年間リサイクル率は98.7% 達成率103.9%で推移している。
- ・自社発生産業廃棄物は作業内容で発生する廃棄物の種類が大きく変わるのでリサイクル率は60%のままとする。

今後も産業廃棄物についてはリサイクルのアイテムを増やして提案し、発生した時点での分別回収による効率の良い収集運搬を行い省エネ、リサイクル率UPを図ること

○環境法令関係改訂情報、その他の情報の入手について

- ・重要な環境関連情報は業界の研修会で改訂に基づく情報が入っている。
- ・その他は新聞、インターネット、業界からの情報、及び環境法令情報サイトからの改訂情報を社内での共有、「環境関連法規等の取りまとめ」を行っている。

今後も継続して環境法令の改定情報を入手して法令順守を図ること

○「環境経営システム」の各要素について

環境経営システムの各要素は問題なく活用できている為見直しの必要はない。

○環境経営方針・目標及び実施体制について

環境経営方針及び実施体制については変更の必要はない。

今後も環境経営方針・目標・計画については、収集運搬業務の効率化と客先の要望も含めて考慮して目標設定の必要がある。それ以外にも運用状況を見て、変更が必要となれば次年度に反映すること。

○課題とチャンスについて

課題は、従業員の高齢化によりスクラップ類の選別技術の継承と効率化、及び人材育成を図る。その技術取得をチャンスにして取引先の信頼を得る様に取り組む様にする。

2026年4月10日

代表取締役 浦上富廣